

## 資料 6

### 実証試験結果の概要(案)

し尿処理方式／技術	
実証機関	
実証申請者／環境技術開発者	

(1)実証装置の概要	
装置の名称・型式	
装置の特徴	
し尿処理フロー及び解説	

装置の写真	
-------	--

**(2)稼働条件・状況**

実証試験期間	試験期間:平成 年 月 日～平成 年 月 日( 日間) (越冬期間:平成 年 月 日～平成 年 月 日( 日間))
設置年数(既設のみ)	年
実証試験場所	山域・山岳名 標高 m
	住 所:
装置設置面積	建 築 面 積:
	処理装置面積:
	そ の 他:
トイレ利用者数	利用者数合計: 人回 (平均 人回/日)
	集 中 時:最高 人回/日、平均 人回/日、計 日間
	平 常 時:最高 人回/日、平均 人回/日、計 日間
気 温	最高 °C、最低 °C、平均 °C
水 使 用 量	初期水量: m <sup>3</sup> 、補充水量 m <sup>3</sup>
電 力	設備内容:
	使 用 量: kWh/d ( 計 kWh )
燃 料	種 類: 使用量: リットル
資 材	種 類:
	使 用 量:
廃 棄 物	種 類: 発生量:
	処理方法:
	作 業 量:

(3)維持管理性能

日 常 管 理	<b>内 容:</b>
	作 業 量:1 回あたりの作業 人 分、実施頻度 回/日
専 門 管 理	<b>内 容:</b>
	作 業 量:1 回あたりの作業 人 分、実施頻度 回/実証期間
開 閉 山 対 応	<b>内 容:</b>
	作 業 量:開山時 人 分、閉山時 人 分
ト ラ ブ ル	内 容:
	対 処 方 法:
維持管理の作業性	

(4)室内環境

利用者アンケート結果等をもとにトイレ室内における快適性・操作性についてまとめる。
--

(5) 処理性能

処理性能に係る分析結果は、実証申請者の性能表示項目を中心にグラフ等を用いて分かりやすくまとめる。必要に応じて周辺環境への影響について記述する。

(6) コスト

<b>建設コスト</b>	<b>総事業費( _____ 千円)( ~ の合計)</b>
	<b>本体工事費( _____ 千円) (a ~ cの合計)</b>
	<b>[内訳] a.建 築( _____ 千円)</b>
	<b>b.電 気 設 備( _____ 千円)</b>
	<b>c.し尿処理装置( _____ 千円)</b>
	<b>運搬費等( _____ 千円)</b>
<b>測量設計( _____ 千円)</b>	
<b>その他( _____ 千円)</b>	
<b>維持管理コスト</b>	<b>合計( _____ 千円/稼働期間)( ~ の合計)</b>
	<b>廃棄物処理費( _____ 千円)内運搬費( _____ 千円)</b>
	<b>燃 料 費( _____ 千円)内運搬費( _____ 千円)</b>
	<b>日常管理費( _____ 千円) 清掃費含む</b>
	<b>専門管理費( _____ 千円)</b>
	<b>消耗品費( _____ 千円)内運搬費( _____ 千円)</b>
	<b>トラブル対応費( _____ 千円)内運搬費( _____ 千円)</b>
	<b>その他( _____ 千円)(内容: _____)</b>

(7)本装置導入に向けた留意点

設置条件に関する留意点
今後、本装置の導入を検討する際の留意点を記述する。
設計、運転・維持管理に関する留意点
今後、本装置の導入を検討する際の留意点を記述する。
課題と期待